

言葉の力

栃木県栃本市立都賀中学校 三年

神田 ひかる

「今日は何を書くのだろう。」

小学校一年生から習字を習い始めました。

はじめは簡単なひらがなから書き始め、だん

だん漢字が多く、難しい言葉になっ

てい。小学校低学年の頃は、ただただ「書い

ている」だけでした。しかし、学年が上がる

につれ、「こんな漢字があるのか。」「どうい

う意味だろう。」と、少しずつ考えて書くよう

になりました。

習字を習っている中で、いろいろな言葉に

出会います。あるとき、「感謝」という言葉

を書きました。「よく知っている言葉だな。」

と軽く考えた。半紙に向かいました。しかし、

いざ書いてみると、「感謝」という言葉を深

く考えている自分がいましました。習字は、一画

一画を丁寧に時間をかけて書くものです。だ

から、字を書いているときには、「感」という

字に心という字が入っているな。謝という
 字には、言うという字が入っているから、言
 葉で感謝の気持ちを表す、ということかな。
 と自分でその言葉について考えるのです。そ
 うしていくうちに「言葉っておもしろいな」
 と思えてきました。今まで自分が考えたこと
 のない言葉でも、習字を通して深く考え、向
 き合うことができるとです。

えているかな。何事にも感謝の気持ちを持
 つて生きていくかな。習字で言葉と出会い、
 書くことによつて、自分というものがよりよ
 くなつていくような気がしています。私は、
 言葉によつて自分を変えるチャンスをもらっ
 ているのです。
 そう考えていたある日、ゴルゴ松本さんと
 いう人が、少年院で漢字の意味を説明しなが
 ら、授業をするというテレビ番組を見ました。
 「夢が叶う人と叶わない人の差は何か。いや

な言葉、マイナスの言葉を吐く人。吐くとい
う字は、口にプラスとマイナス。マイナスを
消していけば、叶うという字になる。夢が叶
う人は愚痴を言わないで頑張る人なんだね。
ゴルゴ松本さんは、独自の解釈で、言葉の意
味を説明してくれます。それを聞く、少年た
ちの顔は皆真剣でした。この番組を見たとき
言葉によ^って人生を変える人や自分の生き方
を見直す人がいると実感しました。

皆さんは、自分に影響を与える言葉に出会

ったことはありますか。自分の心を高めてく
れるような、よい言葉を知っていますか。言
葉は、相手とのコミュニケーションをとるた
めの大切な手段です。それと同時に私たちの
人生を豊かにしてくれるものでもあると思い
ます。だからこそ、出会った言葉の一つ一つ
の意味を深く考え、その言葉からたくさんの
ことを吸収していくべきです。

今、習字教室で「夢追い人」という言葉を
書いています。今まで、私はこの言葉を知り

ませんでした。「夢追い人」と一画一画丁寧に書いていくと、夢に向かっ、て努力する人たちの姿が見えてくる気がしました。私も夢を見つけて輝きたい。また一つ、私を変える大切な言葉が増えました。